

【複数年度(1年目)】人流、物流、情報のシームレスな利活用を実現するための路側マネジメント実験 (和歌山県すさみ町)

4. 今後のスケジュール

- 令和4年2月～8月: 小型モビリティのシェアリング
- 令和4年7月～12月: 街路灯の多機能化実験
- 令和4年7月～11月: ドローンと宅配ロボの物流実験
- 令和4年8月～12月: サイネージを活用した情報提供実験

5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
すさみならではの技術の使い方や体制、荷物の受け手も一緒に巻き込むべきである。ただし、収益分配の仕組みがないといけない。近隣の大学研究室に情報を流すなど呼びかけてはどうか。	令和4年度の実験に向けて検討する。
社会実験であるこの取組を知ってもらわないといけないので、PRする方法を検討すべきである。	すさみ町役場HPIに実験の参加者募集ページを整備する。その他不足する部分は令和4年度に向けて検討する。
小型モビリティは使われないと実験の結果が出ないので、切迫感をもってプロモーションし、利用率を向上して頂きたい。	令和4年3年度の広報誌にシェアリング事業のチラシを折り込み、すさみ町内2000棟に配布を実施するとともに、ポスター30枚をすさみ町内に設置する。
道路情報管理施設の要件、道路構造はどの様に決めるのか？	令和4年度の実験に向けて検討する。
病院に通う方に質問するなどの具体的な地域のニーズを捉え、そのニーズと対策に繋がりを持つべきである。	令和4年度の実験に向けて検討する。
道路空間のスペース、空き地の活用における乗降空間の確認が必要である。	令和3年度小型モビリティ(公用車含む)シェアリングにおいては、特に小型モビリティ(トヨタコムス)はミニカー相当であり、駐車マスの大きさの基準が整備されていない車両なので、必要な最小スペースを設定し、最小スペースとして適正か否かカメラを設置し、目視で確認を実施する。

6. 評価

- 順調に実験が進んでいる。
- 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。